



スポーツ高島

発行日/平成 28 年 1 月 1 日

編集・発行/高島町体育協会広報部

NO. 34

第66回 高島ロードレース 9/20 第37回 まほろばマラソン大会

RUN Marathon Tokyo といふのを知っていますか？
最近のランニングブームを背景に、東京マラソンへ応募が殺到しており大会に出たい人がなかなか参加出来ないという現状があります。
そんな中高島ロードレースは、東京マラソンについて **RUN Marathon Tokyo** 準エリート (国内) に指定された大会 (基準を満たした各県50名の推薦各都道府県陸協に推薦された日本陸上競技連盟の『公認大会』) という事で県内では、酒田シテイマラソン



と二つだけ指定されており今年参加者の中で基準を満たした27名中23名が東京マラソンに参加できるなどエリートランナーも注目の大会となっています。
一般の参加者も増えており、大会運営にご協力いただいている皆さんに感謝すると共に、これからもっと大会が盛り上がるよう皆さんの応援をお願いします。

第20回 チーム対抗ロードリレー 10/12 91チーム455名 激走



今年の参加は91チームとこれまで最多ではないものの、中学生の女子や一般の参加者がリビーターも含め増えています。
そんな中、小学生男子や中学生男子は一般のランナーを焦らせるような走りも見せてくれており応援している人も楽しませてくれる大会となっています。安全確保にご協力いただいている団体や各部のみなさんお手伝いいただいた先生方ありがとうございます。みんなが楽しめる大会として、応援いただきたいと思っています。



高島町体育協会会長
菊地 秀 徳

年頭の
ご挨拶

新年明けまして、おめでとうございます。
皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。
平素は、当協会の事業運営にご理解とご支援を賜り心から御礼を申し上げます。
今年も、町民の皆様並びにスポーツを愛する皆様からスポーツにかける熱い思いを寄せていただきました。「第66回高島ロードレース大会」、「第20回チーム対抗ロードリレー大会」、「第54回全日本50km競歩高島大会」、「第51回高島町総合体育大会」をはじめ各種スポーツ大会が盛大に開催され、新たな友情を育むとともに感動と勇気を呼び起すことが出来ました。心から敬意と感謝を申し上げます。
さて、当協会は、創設67年を迎え、現在、競技種目11団体及び町スポーツ少年団本部(19単位団)の12団体の構成会員により運営を行い、ジュニアアスリートの育成や地域スポーツの推進などスポーツの振興と町民の健康づくりに取り組んでおりますが、少子・高齢化が急速に進む中で社会環境や生活環境が大きく変わり、町民のスポーツ活動に対する欲求の多様化に加え健康に対する関心が一層高まってきております。町民が生涯にわたり安心して気軽にスポーツに親しむことができ、スポーツ活動を通じて心身ともに健康で豊かな生活を営むことができる「生涯スポーツ社会」の実現が急務であり、そのための環境づくりが喫緊の課題になってきております。
当協会では、これら課題解決に向け、町当局のご理解とご支援を賜りながら、「一般社団法人高島町体育協会設立趣意書」の方向性をもって本年4月1日法人設立の準備を鋭意進めているところであります。
今後とも、当協会はジュニアアスリートの育成はもとより、実情の即した管理体制の整備と組織力の強化を図り、スポーツの振興や町民の健康づくり等に努めて参りますので更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、町民の皆様のご多幸とご活躍を、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

第51回 高島町総合体育大会開会式

9月12日(土) 運動公園野球場において多くの来賓をお迎えし開会式を行いました。

記念イベントとして開会式の前にグラウンドゴルフ大会を開催して終了後交流いも煮会を行い、ない美味しいも煮をいただきました。

大会役員のお手伝いの皆様ご苦勞様でした。



4/27~29 4連覇達成!

第61回 県駅伝競走大会 南陽東置賜チーム

大会初日から3日間他チームを寄せ付けない力強い走りを見せ大会完全優勝で4連覇を成し遂げました。

高島町からは、町役場職員である中川敦史選手、平石哲哉選手、大河原謙人選手、中学生では高島二中の神保礼人選手、高校生では米沢工業の佐々木優選手が力走を見せてくれました。これからも地元の期待に応えられる様に、選手・スタッフが一丸となり若手育成と競技力向上に取り組みでまいります。応援ありがとうございます。



高島町役場女子バレー部 県大会・東北大会優勝 全国大会出場

高島町役場女子バレー部は地区大会から東北大会まで勝ち進み、9月12~14日に岡山県で開催された全日本自治体職員等女子バレーボール選手権大会に出場しました。東北大会では、準決勝で1セットを落とし全国が夢で終わってしまったのかと頭をよぎりましたが、チーム全員で必死に粘り決勝に進むことができ、優勝することができました。

全国大会では、予選グループ戦ではあと1点でセットを落とす状況になりながらも、奇跡的に逆転し、決勝トーナメントに進むことが出来ました。

バレーボールを続けることができるのは、たくさんの人たちの協力があったことで、今後も感謝の気持ち忘れず、仲間との絆、信頼感を大切に活動したいと思います。



総合5位

第32回 山形県女子駅伝競争大会 東南東置賜女子チーム

上山市本庄地区公民館をスタートし、山形市メディアタワーまでの5区間、20.5kmで11月22日開催されました。中高生の若い年代チーム編成の中、総合第5位という成績でした。高島町からは、城北高校1年の安部日和さん(高島四中出身)が2区、吉田百那さん(高島四中)が4区を快走してくれました。近年ジュニアの育成が実を結び、上位で戦えるチームが出来て

きています。今後もしっかり選手育成を図りながら来年は3位以内を目指し頑張っていきたいと思っております。引き続き皆様のご声援よろしくお願いたします。



第54回 全日本50km競歩大会 決めた! オリンピック出場内定 森岡紘一郎選手(富士通)

選考大会として行なわれ、強風などの悪条件ではありましたが、見事に森岡紘一郎選手(富士通)が代表内定を勝ち取りました。当日の全国ニュースやネットでもいち早く速報が流されるなど関心が集まっています。高島でこういった大会が開けることに誇りを持ちたいと思います。なお、平成28年は10月23日の日曜日に開催が決まっていますので宜しくお願いします。



今年のホープ



佐藤 優香さん
(二井宿 田沢)
山形銀行
バスケットボール部

小学校時代二井宿スポーツ少年団で(レスリングとバスケットボールで)活躍。中学校でバスケットボール部に所属。その後山形中央高等学校に入学。3年生で県高校総体優勝、国体3位、大学時代もインカレベスト5。山形銀行に入社し、全日本実業団や全日本社会人大会で優勝、国体3位でしたが、今年念願の国体優勝を果たした。



神保 朱季さん
山形工業1年

小学校時代二井宿スポーツ少年団で(レスリングとバスケットボールで)活躍。中学校で柔道部に入部、1年生から活躍し、3年生の時、県総体優勝、東北大会3位、全国大会出場。

今年4月山形工業に入学し、柔道部に所属。1年生にして県高校総体優勝。全日本ジュニア体重別県大会優勝。インターハイ出場と1年生から大活躍し、今後に期待されます。

レスリング

今年、10月10・11日(土・日)の2日間で山形県・新潟県・福島県の10チームが参加し、3県レスリング大会が、二井宿小学校の体育会で開催されました。10日は参加チーム全員で合同練習会と指導者研修及び審判講習会を行いました。そして次の日11日は学年と体重別に試合を行い、講習会の成果を発揮しました。この大会は負けても最低2試合行えるように試合を組んで他のチームとの交流を深めています。また指導者及び保護者の交流も有り、有意義な大会となりました。そしてこの大会には体協をはじめ、地区及び町内の方々にご協力をいただき、怪我もなく盛大に開催できました事に対し感謝を申し上げます。ありがとうございました。

柔道



現在は14名のメンバーで週3回の稽古を実施しております。今年6年生の梅津拓武君が個人戦にて県大会で優勝し昨年に引き続き2回めの全国大会出場を手にすることができました。また、青少年交流柔道大会で

は男子団体戦のBブロックでのごと優勝することができました。川西ダリヤ杯においても、各団体戦で優勝と素晴らしい結果を残してくれました。メダルや賞状を手にした子どもたちの嬉しそうな顔が忘れられませぬ。大会で優勝するという明確な目標を掲げ、ときには試合に負けた悔しさをバネにして一生懸命に稽古に励んでいます。今後も礼儀を重んじ、挑戦する心と思いやりの精神を養っていきたいと思います。

高畠柔道スポーツ少年団

全国大会出場・県大会優勝
高小6年 梅津 拓武くん



卓球

11月22日(日)、恒例の町総体卓球競技が高畠町営体育館を会場に開催され、幅広い年齢層の参加者(90名)が集まり、8つの部門に分かれ競技が行われました。

今大会、例年以上にアマチュアシングルの部に小中学生の保護者が選手として多く参加されたことは、子ども達の熱い気持ちを一緒に共有したいという

想いをくみ取ることができました。そして、笑いや歓声が湧き上がる楽しい交流の場となったことは、この大会の求めるところでもあります。



シニア世代のラージボールの部では年齢を感じさせないラリーの応酬があり、小中学生の部ではハツラツとした元気なプレーやファイナルに多くの観客から声援と拍手が起きました。

中学生にとって今大会は中学校統合前の最後の交流大会となり、お互い競い合ってきた生徒達は、来年度から一緒に仲間として中体連や各大会に望むことになりました。

これからの残り少ない各大会や仲間との学びの場所において大いに交流を図り、自らを鍛え、生徒たちがのびのびと部活動に集中できる環境づくりに保護者ももちろん、地域全体が学校と連携して支えていきたいと思っております。

スキー

冬季間に集中しての活動となるスキークラブですが、特にジュニアの育成に力を入れ数多

くの大会に出場、すばらしい成績を収めています。また、恒例の町民スキー教室は多くの町民の参加を得、有資格者の無料指導も大好評を得ております。



わずか4ヶ月の期間であるが、精一杯活動を展開しています。

寒い冬季間ではありますが、寒さを吹き飛ばしてこの季節だからこそ出来るスポーツスキーを通して健康づくりと会員同志のレベルアップを図りながら頑張っています。また、オフには七ヶ宿スキークラブとの交流会も実施しスキー人口の拡大を図り、隣県仲良く活動を展開していきます。

貴方もスキークラブに入会し、一緒に活動してみませんか。

野球

「統合中学校野球部」

健康を祈ります

野球連盟

本年度の社会人登録は11チームと、結果的に昨年より減ってしまいましたが、新規登録も2チームあり、相変わらず各大会ともレベルの高い試合が繰り広げられました。

また、連盟ではこれまで春と

秋に中学校の大会も主催してきましたが、今年が最後の大会となりました。

この大会には、町内の団体、個人から優勝旗をご寄贈いただいたり、父兄のみならず多くの野球ファンの方からご声援をいただきました。それぞれの伝統あるユニフォームで真剣にプレーをする姿は、とても感慨深いものがありました。

しかしながら、青少年健全育成のためもあり、連盟として来年度以降も違った形で大会の主催、支援をしていきたいと考えています。

統合されて新しく生まれ変わる野球部のみなさんのさらなる活躍を期待しています！

剣道

中学校統合に向けた

剣友会の取り組み

高島町剣友会長 安部 雅美

いよいよ来年度から中学校が統合し、心なしか不安も残る一



方で、それぞれの部活動が、さらに活躍してくれるのではないかとという期待感を持つています。その様な中、今年度の4月から剣友会員が中心となり、剣道競技のレベル向上に取り組むために、中学生を対象とした「高島尚武会」を設立し、活動を始めました。稽古日は、毎週水曜日から日曜日まで、中学校の校舎を超えて希望する生徒が町武道館に集まって来ます。

高島町は、現在も、県内で剣道が盛んな町に数えられます。それは、県中体連が始まった時の第1回、第4回、第6回大会の優勝校が糠野目中学校（現第四中学校）であり、優勝を逃した年も常に上位入賞しています。そして、その時の生徒が、今日の優秀な指導者になっているという流れです。



特に、剣道競技は、「打って反省・打たれて感謝」と言われるように、勝敗だけを追求するものではないが、生徒数が減少していく状況下では、県大会で優勝し、全国大会に駒を進めることは、とても難しい事です。このようなことから、今回の統合を機に、生徒達が目指す目標（全中出場）を、剣友会員が一丸となって支援できるのであれば、それは大変嬉しいことだと思っております。

ブランドゴルフ

今年度の活動を振り返って見て特筆すべき次の3点について報告いたします。

①第28回全国交歓山形県大会が9月5日、6日の両日児童市総合運動公園を会場に盛大に開催されました。



当協会からも役員1名、選手6名が参加し全国の仲間と親睦を深めました。

②現在普及指導員は2級が2名、3級が15名と会員のほぼ15%に達し県の水準に到達しました。普及指導員はルール・マナーの熟知はもとよりゴルフの会員の増加、普及を図ることが本来の目的であり、ますます期待されます。

③今年度も従来の年間約16大会に新しく2つが加わりました。1つは9月3日開催となったナウエル杯、もう一つは9月19日開催となった南陽・東置賜大会で合計18大会となりました。

ソフトボール

本年度をふり返り

今年度は、天候に恵まれて計画通りの事業を終了することができました。

5月17日春の中体連に始まり、6月7日町長杯、7月5日体育協会長杯、8月23日歴代協会長杯、9月20日秋の中体連、10月4日高島町総体、そして、10月25日高島町で8年振りで開催された置賜社会人ソフトボール大会と、皆様のご協力のもとで無事終了することができました。

特に、10月4日の高島町総体においては、浪江大吉SSBチームが5年連続で出場してもらいました。

今年度はまた、チームを2チームに増やしてもらい、大会の盛り上げに貢献して頂きました。

大会の終了後に、昨年同様芋煮会を開催し、高島チーム及び協会メンバーと浪江大吉SSBメンバーの懇親を更に深めてもらいました。

来年も、各大会においてより多くのチームが参加できるように努力したいと思います。



思って居りますのでよろしくお願いたします。

皆様のご協力本当にありがとうございます。

ソフトテニス

今年を振り返って

高島中 工藤 有梨伽

今年の成績は地区総体、団体優勝、個人は2位と3位、新人戦は団体3位、個人3位でした。結果を振り返ってみると普段の練習で顧問の先生やコーチの指導に頼りすぎていた事がなかなか出来ずに悩みました。誰かに声をかけてもらわないと出来ないということが多いからだと思います。これからは自主的にできる様に心がけていきたいです。

ジャッチーパーを見て試合の反省をしっかりとしてペアの人と話し合いコーチの方の指導を良く理解して自分の良い所を生かしあきらめず、次の試合への自信につながる様に練習したいと思います。

来年は新しい中学校の仲間といっしょに優勝を目指して頑張りたいと思います。



中学生たより

全国ジュニアオリンピック出場者

東北中学校体育大会

〔陸上男子〕 110 mハードル
高橋 辰壽くん 一中 3年

〔陸上女子〕 1500 m
加藤 凜さん 一中 1年

〔陸上女子1年〕 1500 m 2位
吉田 百那さん 四中 1年

〔陸上男子〕 800 m
神保 礼人くん 二中 3年

〔女子〕 800 m 代表準決勝



吉田 百那さん
四中 1年

〔四種競技〕



高橋 辰壽くん
一中 3年

〔高飛込〕
〔板飛込〕

16位
15位

〔全国中学校水泳女子〕



皆川 詩音さん
三中 1年



〔柔道女子〕 48 kg級
猪野 由衣さん 一中 3年

〔剣道男子団体〕
高島 4中
渡部 健吾くん 3年
竹田 悠作くん 3年
高橋 知也くん 3年
横山 健太くん 3年
佐藤 潤哉くん 2年
工藤 康介くん 1年
中根 洋介くん 1年

高島 一中

東置賜地区総体

〔野球〕 2位
〔ソフトテニス女子団体〕 優勝
(県大会 出場)

〔ソフトテニス男子団体〕 2位
〔柔道男子〕 73 kg級
遠藤 拓真くん 2位

〔柔道男子〕 60 kg級
大河原智之くん 優勝

(東北大会出場)

大浦 歩夢くん 3位
〔柔道女子〕 48 kg級
猪野 由衣さん 2位

〔柔道女子〕 57 kg級
寒河江美咲さん 3位

〔剣道女子団体〕 優勝
(県大会出場)

〔剣道女子個人〕
志賀唯莉香さん 優勝
土屋都希菜さん 3位
金子 夢生さん 3位
(3名県大会出場)

〔剣道女子団体〕 3位
〔陸上 男子四種〕
高橋 辰壽くん 1位
〔女子1年1500 m〕
加藤 凜さん 3位
〔柔道女子〕 48 kg級
猪野 由衣さん 2位

県中学校新人大会

〔サッカー〕
Eプロック 優勝
県新人大会 3位

県中陸上選手権大会

110 mハードル
高橋 辰壽くん 2位

400 mハードル
佐藤雄太郎くん 3位

〔男子走り高跳〕
高橋 辰壽くん 2位
柳澤 友希くん 3位

〔女子走り高跳〕
長谷川琴音さん 優勝

高島 一中

東置賜地区総体

〔卓球男子団体〕 優勝
〔卓球女子団体〕 2位
〔卓球個人戦〕
鈴木 康靖くん 優勝
伊藤 愛さん 優勝

県中学校総体

〔卓球団体〕 ベスト8
〔剣道女子団体〕 ベスト8
〔陸上男子〕 800 m
神保 礼人くん 4位

高島 三中

東置賜地区総体

〔バレーボール女子〕 2位
〔柔道個人〕 81 kg級
後藤 信くん 優勝

県中学校総体

〔水泳飛込女子〕
3 m 高板飛込 優勝
高飛込 優勝
皆川 詩音さん

〔柔道個人〕 81 kg級
後藤 信くん ベスト8

県中学校新人大会

〔柔道個人〕 90 kg級
後藤 信くん 3位

高島 四中

東置賜地区総体

〔バスケットボール女子〕 優勝
〔剣道団体男子〕 優勝
〔剣道団体女子〕 2位
〔ソフトテニス団体女子〕 2位

〔剣道個人男子〕
高橋 知也くん 優勝
佐藤 潤哉くん 2位

県中学校総体

〔剣道団体男子〕 3位
〔剣道団体女子〕 ベスト8
〔剣道個人男子〕
工藤 康介くん ベスト8
〔陸上女子1年1500 m〕
吉田 百那さん 1位

一般社団法人 高島町体育協会設立趣意書

高島町体育協会は、戦後間もない昭和 23 年に設立し、以来、町民がスポーツ活動を通して、明るく、健康で、健全な身体と精神を育み、快適で、豊かな生活を営むことができるように、高島町のスポーツ振興施策と連携を図りながら諸事業を展開し、支援してきており、更なる活動の充実強化に努めているところです。

しかし、少子・高齢化が急速に進むなかで、社会環境や生活環境も大きく変化し、町民の健康に対する関心やスポーツ活動に対する欲求が、より一層高まるとともにその内容も極めて多様化してきており、町民が生涯にわたり安心して気軽にスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会」の実現が急務であり、そのため環境づくりが必要であります。

スポーツを町民一人ひとりの生活に根付いた文化にすることを目的として、町民が生涯にわたり日常生活の中で自発的・継続的に楽しく、それぞれのライフスタイルに応じた多様なスポーツの選択を行うことができるようにするには、高島町体育協会事務局の充実を図り、従来よりも幅広い分野できめ細かな事業展開ができるような新たなしくみをつくり、スポーツ施設や環境等の諸条件の整備充実を図っていくことが重要であると考えております。

ともすればこうした課題の解決を行政に頼りがちでありましたが、今では、町民と行政の協働で地域の課題解決に取り組んでいくことが求められ、行政とスポーツ団体とがそれぞれの特性を生かし、その役割を分担し、町民のスポーツに対する多様なニーズを集約して、相互に連携を深めながら町民の期待に適切に対応していくことが必要であります。

また、競技スポーツだけでなく町民スポーツにおいてもスポーツによる交流が活発化し、競技力が向上していくに伴い、組織のより一層の強化充実が必要となっております。

このような観点に立ち、高島町体育協会が今日まで活動してきた実績の上にたって、今後は、さらに以下の課題と方向性を示していく必要があります。

- 第一に、町民と行政の協働の社会を創るためには、高島町体育協会は、行政との協力を保ちながらも、より自主的に事業活動に取り組む必要があります。
- 第二に、地域社会に対して、高島町体育協会が生涯スポーツ活動の支援を通して社会的責任を果たすことをより明確に示す必要があります。
- 第三に、高島町体育協会の事業活動をさらに活性化していくために、今まで以上に、安定的な財政基盤の確立と透明性の高い組織運営を行う必要があります。

以上のことを実現していくために、高島町体育協会は、改めて町民がスポーツを通して明るく健康で豊かな生活を営むことができる地域社会～「すべてのいのちを大切にし、いきいきと輝くまち」～の構築に努めていくことを決意し、ここに一般社団法人高島町体育協会を設立するものであります。

法人設立、～総会までの主なスケジュール

平成26年12月	<p>常任理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆方向性の確認 ◆当面の具体的スケジュールの確認 ◆町の緊急雇用創出事業の受入とその進め方を協議 ◆町の業務委託事業(体育館等の管理)の受入とその進め方を協議 ◆臨時総会付議事項とその内容を協議 <p>緊急雇用創出事業による雇用職員の募集(ハローワーク届出) 採用条件 採用時期 処遇</p> <p>緊急雇用創出事業にかかる事務手続き</p>
平成27年 1月	<p>常任理事会 ◆臨時総会付議事項とその内容の最終協議 (町総体の反省会・新春顔合わせ会)</p>
1月	<p>臨時総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆町の緊急雇用創出事業の受入の承認 ◆町の業務委託事業 (体育館等の管理)の受入の承認 ◆法人設立と当面の具体的スケジュールの承認
2月	<p>緊急雇用創出事業による職員の雇用</p>
4月 1日	<p>町の業務委任事業(体育館等の管理)の開始</p>
4月 3日	<p>常任理事会 ◆定時総会付議事項とその内容の検討</p>
4月19日	<p>定時総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成26年度事業報告・収支実績の承認 ◆平成27年度事業計画・収支予算の決定 ◆役員改選 ◆法人設立準備委員会の設置の承認 ◆法人設立までの具体的スケジュールの承認
5月20日	<p>法人設立準備委員会の設置 ◆具体的スケジュールの検討 ～検討～ ◆定款等の検討 ◆執行体制の検討等</p>
6月19日	<p>町長との懇談会 ◆体協法人設立の工程とその他</p>

平成28年の予定

2月 5日	設立時社員総会
3月上旬	定款認証準備
3月18日	臨時総会⇒任意団体の法人化移行総会
3月下旬	定款認証
3月22日	(設立時)理事会⇒事業計画と予算案の承認、業務執行理事の選定
4月 1日	設立登記申請⇒法人成立⇒平成28年度業務委託事業開始
4月17日	一般社団法人 高島町体育協会定時総会